

2015年(平成27年)
10月27日(火)

室蘭民報 MUROMIN

啓発ポスターを掲示

国連の「持続可能な開発目標」

「持続可能な開発目標」
の啓発ポスターを掲げた
海星学院高校の生徒会執
行部メンバー



室蘭・海星学院高生徒会

9月末にニューヨークの国連本部で開かれた「国連持続可能な開発サミット」で、極度の貧困や飢餓の撲滅、質の高い教育の提供など、17の「持続可能な開発目標」が採択された。これを受け、ユネスコスクールの室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、232人)はこのほど、全校生徒への啓発ポスターを校内に掲示した。

(成田真梨子)

今月から新体制となった生徒会(永谷佳子会長)執行部が取り組んだ。「健康と福祉」「産業、技術革新、社会基盤」「ジェンダー(社会的性差)の平等」「平和、正義、有効な制度」など17の目標を解説するポスターを一枚ずつ作製し、生徒が最も利用する中央階段の壁に掲げた。

「質の高い教育」のポスターでは、世界で5700万人の子どもが学校に通えず、その半数が紛争地域に住んでいると指摘。公平で質の高い教育の提供と、生涯学習の機会促進の重要性を訴えている。同校では途上国支援として、楽器や書き損じはがきの回収などに取り組んでいる。

執行部は「生徒たちに、自分のことに置き換えて考えてもらえたら」と話している。新執行部の多くが、東南アジアへのスタディーツアーや東日本大震災被災地でのボランティア活動を経験しており「今後、より一層レベルアップした活動を」と意欲を燃やしている。